

沖縄「日本復帰」40年を問う

首相官邸前で記念式典抗議も！

集会とデモ

【沖縄からの訴え】

ひがしおんなたくま
東恩納琢磨さん

(名護市議会議員)

5月15日(火)

【時刻】18時30分～

デモ出発 19時30分を予定

【場所】代々木公園・けやき並木

(NHK放送センター前)

「原宿」「渋谷」駅10分



「復帰40周年記念式典」糾弾!

首相官邸前抗議行動

【時刻】同日16時集合

注意! 12時から変更しました

【場所】国会記者会館前路上

(首相官邸の向かい)

地下鉄千代田線・丸ノ内線

「国会議事堂前」駅出入口3すぐ

【主催】沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック

TEL090-3910-4140 (2012年4月20日作成)

5・15当日、訴えよう！抗議しよう！

1972年5月15日、沖縄の施政権が日本に返還（いわゆる日本復帰）されてから今年で40年になる。今、改めて「復帰」を問う。

在日米軍基地の74%が集中し、軍事基地があるが故に起こる事件・事故により生命が人権が脅かされている状況は「復帰」後40年経った今でも何も変わっていない。日本は米国と軍事同盟を結んで沖縄にその矛盾を押しつけている。

米軍再編見直しで1500人の在沖海兵隊の岩国移転を米側から2度にわたり打診された日本政府は、岩国市長が「ダメ」と言っているからと海兵隊の移転を直ちに断った。ところが、キャンプハンセンの海兵隊実働部隊を移転要請された日本政府は、
“中国脅威”を盾に沖縄からの移転に反対したとされる。

普天間「県外」・辺野古新基地建設反対に対する沖縄の総意は固い。沖縄の40余の市町村をはじめ県知事などオール沖縄で明確な「民意」を日本政府に突きつけている。にもかかわらず、野田首相をはじめ閣僚は、沖縄の民意を一顧だにせず辺野古に固執し、沖縄詣でをくり返している。これはまさしく、沖縄に対する政治的差別であり、構造的差別に外ならない。

「復帰40年」の今、改めてこのことを問わずはいられない!!

5・15当日、私たちは訴える！抗議する！デモ行進をする！
賛同されるかたはぜひ参加してください！ともに訴えよう！

5・15 声明への賛同をお願いします

詳しくは、賛同用紙か、ホームページ (<http://www.jca.apc.org/HHK/>) をご覧下さい。